

平成 27 年度 福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議 議事録

- 1 日 時：平成 27 年 7 月 8 日（水） 14:00～16:00
- 2 場 所：福岡市総合図書館 3階 第2会議室
- 3 出席者：委 員）梶田由美子，坂田美和子，島津摩季子，高橋昇，八尋和郎（計5人）  
職 員）久池井館長，河口管理部長，坂本運営課長，岩口図書サービス課長，  
矢野文学・文書課長 他  
傍聴人）3名

4 議事録

1. 開 会

館長挨拶／委員紹介／職員紹介

2. 新ビジョン事業計画の点検評価

(1) 平成 26 年度新ビジョン事業計画の取組状況及び内部評価についてのヒアリング

	【事業別の評価調書について】
委 員	内部評価は甘めになっていると感じる。取組状況が「検討」などという事業は検討内容等も把握できず，評価できない。
委 員	途中段階の事業については，その辺もヒアリングさせていただく。
委 員	「分館の新設」について，評価がBとなっている理由は。
事 務 局	早良区地域交流センターに関する年次計画は，昨年度は候補地の検討までで，基本構想は 27 年度の予定。スケジュールは予定どおりであったが，昨年度中に教育委員会内での運営方針なども練れていれば良かったということで評価している。
委 員	地域交流センター施設内の配置場所など，基本計画時に図書館としての方針を主張し，より良い図書館づくりをお願いする。
事 務 局	現段階では図書館機能の導入が決定している状況でないため，27 年度以降は，図書館機能の導入や運営方針などを計画にまとめていく。

委 員	「貸出・返却拠点等の新設」について、貸出返却拠点が大事であり、返却拠点の1カ所増設のみでA評価か。
事 務 局	平成30年度までに貸出・返却拠点については各2カ所増設を目標としており、返却拠点ではあるが1カ所増設したことを評価している。貸出拠点については、人員確保や予算などもあり、進めていけないのが現状である。
委 員	人員については、貸出返却作業のみのサテライトとして、シルバー人材センターやボランティアなどの活用も検討し、貸出拠点も進めていただきたい。
委 員	貸出拠点については、どのような検討を進めているのか。
事 務 局	設置場所については市全体での設置状況等を踏まえ、人員・予算については、慎重に進めていきたいと考えている。
委 員	南区南部の計画について、検討はどこまで進んでいるのか。
事 務 局	南区南部については、利用者ニーズの調査などを進めていくことで考えている。
委 員	「開館時間・休館日の見直し」については、いつまでにどのように実施するかを聞かせていただきたい。
事 務 局	休館日については平成28年度から東図書館で休館日の減、時間延長についても平成28年度から総合図書館と東図書館で実施していく計画で進めている。
委 員	交通の利便性がいい図書館の時間延長などは考えているか。
事 務 局	東図書館の成果を見ながら、次のステップを検討していきたいと考えている。
委 員	指定管理者制度導入についてどのような検討がなされてきたか教えていただきたい。

事務局	<p>総合図書館条例は3月議会で改正を行ったが、それに至るまでに運営審議会及び教育委員会会議のご意見なども伺い、その方向性を12月に議会に報告し、12月及び2月議会で審議いただいた。</p> <p>また、時間延長の財源を指定管理制度導入により確保するとともに、併せて職員の勤務シフト変更により時間延長に対応することで進めている。</p>
委員	「図書館イベントの充実」についての進捗状況を聞かせていただきたい。
事務局	平成27年度に分館での「読書会」を検討している。閉館後の時間帯を考えている。
委員	「やすらぎと交流の場づくり」の進捗状況を聞かせていただきたい。
事務局	民間コンサルタントによる調査は現時点では未実施であり、平成27年度の後半に実施する予定。
委員	「ホームページの複写サービス」は、通常のコピーサービスの値段と同じか。
事務局	図書資料と同等の扱いとしているため、コピーサービスと同額である。
委員	運用方法の改善とはどういう内容か。
事務局	試行における件数が少なく時間を要したが、受付事務手続き等の方法について改善を行った。試行開始から平成27年5月末までで35件となっている。他図書館では行っていないことを整理し、試行から本格実施したことを評価している。
委員	「公民館等の読書活動への支援」の進捗状況を聞かせていただきたい。
事務局	関係部局と協議を開始している。
委員	「議会図書室との連携」において、名古屋大学の「eLen 条例データベース」の活用などは考えているか。

事務局	この事業は議会図書室に総合図書館の資料を貸し出すことを目的としており、条例等については市内部のシステムで閲覧ができることから、ご意見については検討していない。
委員	事業計画の目標値についてはどのように考えているか。
事務局	目標数値については議会図書室の利用状況等から反映されるものであり、図書館としても広報活動をしていくことを考えている。
委員	「ヤングアダルト層への広報活動の強化」について、分館の状況はどうか。また、ヤングアダルトへのアプローチはどのように考えているか。
事務局	分館、総合図書館ともコーナーは設置している。 これといったアプローチ方法がなく苦慮している。
委員	学校図書館司書、司書教諭や学生との意見交換などしてはいかがか。
事務局	学校図書館支援センターなども活用し、立案していきたいと考えている。
委員	高校との連携は考えているのか。
事務局	高校生の図書委員などに話を投げかけている状況で、今後進めていきたいと考えている。
委員	「歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化」について、DVD 目録送付の有効性と検索についてどのように考えているか。 他の公文書館からもそのような目録が送られてきているのか。
事務局	紙ベースより検索しやすくするためにデータ目録化している。 他の公文書館から送ってきていない。 ホームページの容量などの関係から、ホームページからの検索ができな いため、現在の方法で行っている。
委員	「古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化」に関連して、古文書読解力講座みたいなものは実施していたか。

事務局	毎年「古文書学講座」を実施しているが、古文書の基礎的な講座であり、読解力のための講座ではない。現在の人員体制では、読解力講座等の実施は厳しい。
委員	「情報発信の推進」について、リンク集に県立図書館や国立国会図書館のデータベース検索ボタン等の充実を考えているか。
事務局	ホームページ改修やレファレンスサービス充実において、検討していく。
委員	「職員の育成及び技術向上」について、どのようなことを考えているのか。自分の職場では、自分達でマニュアル作りをすることによって、職員育成もしてきた。
事務局	<p>接遇やビジネスマナーなどの全体研修は外部講師等により基本のレベルを高めていきたいと考えている。</p> <p>図書サービスのマニュアル作成の見直しなどを進めている。</p> <p>専門研修については、分館においては区役所の出前講座などにより研修を実施したり、国立国会図書館の遠隔パソコン研修による著作権研修を実施している。</p>
委員	主題専門知識に関する研修はどのように考えているか。
事務局	<p>主題別の研修は今のところ予定していないが、公共団体等による課題別の研修は考えていくこととしている。</p> <p><b>【総括の評価調書について】</b></p>
委員	続いて、総括について評価を行うが、図書館としては頑張っていると感じているが、目標数値の入館者数等の減少をどう見ているか。
事務局	登録者数を増やしていくための分析も必要であり、その手立ても行っていきたい。貸出冊数についてはインターネットの普及や社会的な影響もあると思うが、貸出拠点などのいろいろな方法を模索し、魅力ある図書館にしていきたい。

委 員	魅力ある図書館とはどういう図書館を考えているのか。
事 務 局	いつでも利用でき、もっと身近にある図書館というのが、利用者の方の声だと思っており、また、どういう図書館にしていくかというコンセプトも大事と考えている。市民の皆さんの声を聴いていきたい。
委 員	図書館もその場所にあるだけではなく、アウトリーチによる図書館サービスを研究していただき、市民に近づいていく図書館を検討してほしい。
委 員	ショッピングモールなどにも図書館を設置するなどの検討もしていただきたい。
事 務 局	<p>求められる図書館像も変化してきていると感じている。</p> <p>これまで図書館を利用したことがない人、以前図書館に来ていたが今は来ていない人に来てもらうようにするなどの魅力ある図書館にしていくために、新ビジョンを策定し、事業を進めていくこととした。</p> <p>図書館の付加価値の部分にも開拓し、図書館の価値を上げていきたい。</p> <p>今後は、現在検討している事業などにおいても、進捗状況等について詳しく説明できるよう進めていきたいと考えている。</p>

(2) 平成 26 年度新ビジョン事業計画の外部評価の提出について

3. 開 会

管理部長挨拶／事務連絡